

シ埋築スルカ如キハ灣内遡潮ノ量ヲ減殺シ爲ニ土砂ノ推積ヲ増進スヘケレハ如此障害ヲ港灣ニ醸スベキ恐レアル埋築方法ハ一切實施セサルモノトス

以上ハ本港改修計畫ノ概要ナリト雖モ未タ其筋ヘ起業出願ノ運ヒニ至ラズ然レモ起業者ノ熱心ナル不日諸事ノ調査ヲ遂ケ出願ノ場合ニ至ルヘク而シテ許可ヲ得テ起工ノ日ニ至ラハ更ニ詳細ナル工事仕様法及ヒ工費豫算等他日參考ニ供スルアラントス

○三重縣伊勢加大隧道東口堅坑間貫通報告 (工學會誌第九十二卷ノ續キ)

工學士 井上徳次郎

加太隧道東口堅坑間貫通ニ就キ 明治二十二年十月七日午前十一時三十分貫通

東口堅坑間隧道延長ヲ算出シタル方法ハ前述ト同一ニシテ四拾分壹ノ勾配ヲ保ツモノナレバ茲ニ勾配 爲メ  $0^{\circ} 51' 51.9$  伸長ヲ生ズ即チ東口堅坑間全延長ハ  $1662.87 + 0.519 = 1663.389$  ナル可シ

以上三角測量コテ算出シタル結果ナリ 貫通后坑内堀鑿敷面ニ沿ヒ實測シタル延長ハ

1663.527

1663.527 - 1663.389 =  $0.138$  ノ差ヲ生ズ此差タル前ニ述ベシ如ク三角測量ノ誤リニ源因セルカ貫通后實地測量ノ精密ナラザルカ孰レチ非トシ孰レチ是トシテ宜シキヤ其斷言ニ困ムモノナリ

貫通ノ中心測量ノ結果 貫通前測量セシ東口ヨリノ中心線ト貫通前測量セシ堅坑ヨリノ中心線ト貫通點ニ六厘ノ差ヲ出シタリ

貫通ノキ高低測量ノ結果

貫通前測量セシ東口ヨリ高低基點ト貫通前測量セシ堅坑ヨリ高低基點ト貫通點ニ於テ二分七厘ノ差ヲ生シタリ

貫通點ハ東口ヨリ 987 Ft 699

堅坑ヨリ 975 Ft 828

1663 Ft 527

○西字新聞抄譯

○レクランセー氏電瓶ノ改良

頃日レクランセー氏電瓶改良ニ付ヘル、ミラルナル人好結

果ヲ得タリト云フ蓋シ其改良點ト唱フルハ亞鉛棒ノ空氣ト接觸セル部分ヲ長サ凡一時内外ノゴム管ヲ以テ覆フニアリ之レ水面ニ於ケル亞鉛部分ハ空氣ニ曝サル、時ト曝サレサル時トヲ比較セハ空氣ニ曝サル、時ハ其消失殆ノド二倍ナルカ故ニ成ルベク空氣ニ接觸セザラシメンカ爲メナリ此法ニ於テハ又亞鉛ニ混汞法ヲ施シ酸礬ノ亞鉛棒ニ付着スルヲ防ギ溶液ニハサルアムモニヤ液ノ二分或ハ三分ヲ入ル、ノミナリト云フ

○英國電信收入

本年九月以前三ヶ月間ノ電信收入ヲ見ルニ昨年ニ比スレハ大ニ増加シ

タルカ如シ即チ昨年九月以前三ヶ月間ノ收入ニ比スレハ五万五千「ポンド」ノ増加ニシテ本年九月以前一ケ年間ト昨年九月以前一ケ年間トヲ比較セハ實ニ十九万「ポンド」ノ増加ナリ左ニ増加チ區別シ擧クレハ

千八百八十八年

千八百八十七年

十二月前三ヶ月間 五拾一万五千「ポンド」

十二月前三ヶ月間 四拾六万五千「ポンド」